|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  | |
| **Q１** | 研修の対象は、市町村の保健師の内、「係長級～課長補佐級」  （統括保健師は除く）」となっていますが、それ以外の保健師も受講できますか？  　例えば①係長級より下の職位や課長補佐級よりも上の職位の者は？統括保健師は？  　　　　②県の保健師はどうでしょうか？ | |
|  |  | |
| **A** | →本研修は、お示しした様な対象の方への効果は検証しています。特に現在管理者の方  　がより研修の効果があることを確認しています。しかし、今回、対象とした方々以外  　の効果は検証していません。したがって①②の受講は推奨していません。各県で独自に開催される場合に、①②の方の受講を検討される場合は、演習内容やグループのメンバー構成に配慮や工夫が必要となります。 | |
|  |  |  |
| **Q２** | 研修は２日間続けて開催することが基本とされていますが、本県では１日単位での研修開催の経験しかありません。  　　例えば①研修の一部分だけを取り出して１日で開催することは可能でしょうか？  　　　　　②間隔はどのくらい開けて実施しても構いませんか？ | |
|  |  | |
| **A** | →① この研修のプログラムは、「事前準備資料→集合研修の講義→演習→講義→演習」という積み上げによって一般目標（GIO）を達成することができるように  　構成されています。一部分だけ取り出して実施することは避けてくださるようお願い  　いたします。  →② 一般に研修は間隔を開けるとしても２週間程度が望ましいとされ、本研修でも同  　様に考えています。それ以上の間隔を開けると十分に研修の効果を得られません。 | |
|  |  |  |
| **Q３** | 受講者は最低15名となっていますが、当県は小さいので人数を毎年集めて実施することは難しいと思います。隔年など数年に一度の開催頻度でも可能でしょうか？ | |
|  |  | |
| **A** | →グループワークを重視しているので、「5人×3つ＝15人」と最低の定員を設定して  　います。貴県の実態に合わせて、数年に一度の開催や近隣県との合同実施などを考え  　ていかれると良いと思います。 | |
|  |  | |
|  |  |  |
| **Q４** | ファシリテーターは、県の課長職にある保健師が望ましいとされていますが、もっと若手の保健師がファシリテーターをすることは可能ですか？ | |
|  |  | |
| **A** | →本研修は国が全国の数カ所で開催しています。その研修でファシリテーターとして参加した経験のある方、その研修や本研修の受講経験がある市町村保健師の方で経験が豊富な方など、各都道府県でこの様な経験と同程度の経験を有する適切な方を選んでいただきたい。 | |
|  |  | |
|  |  |  |
| **Q５** | 各グループに一人のファシリテーターの配置とされていますが、複数のグループを担当しラウンドする形は可能でしょうか？　２日間同じ者が担当する必要がありますか？ | |
|  |  | |
| **A** | →グループワークでは「管理的立場になって考える」ことを求めています。このイメージを広げたり、焦点を絞ったりする為には各グループに一人のファシリテーターの配置を必要としています。できるだけ、2日間同じファシリテーターが担当してください | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **Q６** | グループメンバーを決める際に適切な受講者の組み合わせはありますか？  また、1日目と2日目のメンバーは同じ方が良いでしょうか？  　　　　例えば①市町村の人口規模別、②保健師の経験年数別、③受付順 | |
|  |  | |
| **A** | →グループメンバーの配置は、各都道府県管内の市町村の状況によって左右されるので一律には設定していませんが、例示された①か②が適切だと考えます。③は研修の運営や評価をする際の妨げになるので避けてください。  　また、1日目と2日目のメンバーは、同じメンバー構成にしてください。 | |
|  |  | |
|  |  |  |
| **Q７** | 開催する為の予算は、具体的にどれくらい必要となりますか？ | |
| **A** | →謝金や交通費などの経費は、外部講師等を依頼する際に必要になりますが、添付したDVDに収録されている講義を活用することもできます。他の方への対応は各都道府県の実態に合わせてください。 | |
|  |  | |
|  |  | |
| **Q８** | 「組織におけるリーダーシップとマネジメン」「市町村保健師管理者に必要な機能と能力」「根拠に基づいた施策の展開」の講義などを依頼するのに適切な先生が思い浮かびません。県外の先生や国立保健科学院の先生に講義を依頼するのは可能でしょうか？ | |
|  |  | |
| **A** | →研修の講師は、保健師育成を行っている看護系大学（含：養成所）の教員で適切な方がいない場合は、行政での保健政策や事業計画の策定や評価に関わった経験がある公衆衛生の医師の方も含め各都道府県内での人材を検討してください。また、本事業では、この３つの講義に関してはDVDを用意していますので、集合研修時に視聴することも可能です。 | |
|  |  | |
|  |  | |
| **Q９** | 資料集で紹介されているアンケート調査票を本研修以外の研修でも活用することはできますか | |
| **A** | →本研修以外の研修でアンケート調査票を活用していただく場合は、出典を明らかに明記してご活用ください。 | |
|  |  | |
|  |  | |
| **Q10** | 分析ツールで紹介されているデータの入力表（エクセル）を使って、本研修以外の研修のデータを分析することは可能ですか？ | |
|  |  | |
| **A** | →入力できる項目は、２８項目で各項目は４段階の得点を入力するように設定しています。したがって、２８項目で４段階の得点配置なら本研修以外の研修でのアンケートの結果でも活用することは可能です。もし、項目数を増減する場合は、正しく計算されていることを確認の上、集計結果をご使用ください | |
|  |  | |
|  |  |  |
| **Q11** | 研修の効果は、研修終了後に徐々に低くなるのではと危惧しています。また、研修後（2～3ヶ月後）のフォローアップ調査は必ず実施する必要がありますか？ | |
| **A** | →これまでの調査では、研修前と終了後、および2か月後の3点で、  ほとんどの項目に統計的に有意な改善が確認できています。少人数で行う場合、  統計的有意差はバラつく可能性もありますが、点数（効果）の推移は確認できるため、フォローアップ調査はできれば実施が望ましいとしています。 | |